

西川 コミュニティだより

第60号

■発行／西川地域コミュニティ協議会 電話 0256-88-5900

FAX 0256-78-7544

■発行日／令和6年12月26日

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

西川地区公民館の今年をふり返って

西川地区公民館 樋浦 明彦



地域の皆さまには、日頃から西川地区公民館（西川学習館）の事業やご利用に、あたたくいご理解とご協力をいただいておりますことを誠に感謝申し上げます。

このコミ協だよりは令和6年末に皆さまがご覧になると思いますが、一年をふり返ってみて、いかがな年でしたでしょうか。私は、やはり1月1日の能登半島地震が最も印象に残っております。西川地域でも被害にあわれた方がいらっしゃいましたが、公民館の玄関前も地震被害で段差が出来てしまいました。段差により長らくご迷惑やご不便をお掛けしていますが、復旧工事の目途がつかしましたので、まもなく解消される予定です。

公民館の今年の事業をふり返りますと、例年の事業に加え、西川多目的ホールで一般向けの映画上映を実施してみました。旧作の映画ですが、多くの方からお出でいただき好評を得ましたので、継続して実施していきたいと思えます。また、公民館講座も地域の方からリクエストのありました、スマホ講座を実施したところ、直ぐに定員になりました。申込のお断りをした方もいましたので、来年も計画したいと思えます。

元気な人のお話を聞いて元気をもらおうと、地域元氣人講演会を新規講座として開催したところ、多くの方からお出でいただきました。今後、公民館に多くの方から足を運んでいただけるように、地域のニーズをお聞きして、皆さまの求める各種事業や講座を展開していきたいと思えます。

趣味や生きがいとしての生涯学習の場所として、公民館をご利用いただいている定期利用団体の数が、少し減少しています。公民館の各種講座などをきっかけに、趣味や学びの仲間やサークルが結成されて、より公民館の利用が促進されることを期待しております。

※次頁へ



▲曾根神社の淡雪



▲金剛寺の星まつり(2月3日)

■西川地域の総人口:10,242名(-45名) ■男:4,957名(-22名) ■女:5,285名(-23名) ■世帯数:4,095戸(-2戸)

()は、前号との比較(令和6年11月末日現在)

※前頁より

ところで、西川地区公民館は、皆さまご存じのように「西川学習館」という施設でもあります。学習館での利用ですと、条件はありますが、公民館では制限のある企業の研修会や個人的な利用も可能です。学習館使用料を来年、令和7年4月の利用から値下げいたします。若干、使いやすくなると思いますので、学習館での利用者についても数を増やしていきたいと考えています。

地域の財産である、公民館（学習館）が皆さまから有効に利用していただける施設、気軽に来館できる施設であるよう、頑張つて参りますので、よろしくお願いいたします。
皆さまが、良いお年を迎えられますようご祈念申し上げます。

西川学習館単独の電話番号を廃止し、西川地区公民館の電話番号に統合いたしました。

○西川地区公民館・新潟市西川学習館(共通)

0256-888-2334

第7回 スポーツ玉入れ大会

日時:令和7年2月16日(日)
午前9時30分から

場所:西川体育センター

主催:西川地域コミュニティ協議会



セーフティスタッフ 旗屋地域の四季のメモ

曾根小学校子ども見守り隊員 入澤 輝夫



一月

○七草も終わり年末年始の休みも終わり小雪が舞う中、元気に登校。周りは白一色汚れを落とすが如く今年一番の降雪。
○今日も朝から除雪車が走り、道路脇に大きな雪団子が出来、歩きにくい。大銀杏に積もった雪が大きな音を立てて落下しピツクリした。

二月

○久しぶりの快晴、道路が氷って滑る気温も零度近く吐く息も真っ白、屋根から長い氷柱、久々の快晴で気持ちも爽やか角田山は頭が雲で覆われている。子供は寒さ何のその、元気で登校して行く。

三月

○朝晩はまだ寒い。雪はほとんど解け畑の土が顔を出して居る。所々に除雪の雪が汚い色をして高く積み重ねられている。
○今日の角田山はまだ全体が白く雪に覆われている。もう少しで子供たちは卒業、進級、入学が待っている。
○今日は卒業式、私もお祝いに参列する。南の方から桜の便りが届いている。ここ数日天気が良い。ここ数日角田山の雪も一気に解け、沢に少し白くあり春の準備が始まった。
○三月は出会いと別れが、交差する時、春の風が微笑を濡らす。



※次号へ続く

2大会連続優勝の喜び

西川カーリンコンクラブ

去る10月19日、第3回西蒲区カーリンコン大会が開催され、我がクラブから4チームが出場。(1チーム3名で構成)他に巻地区チームはじめ峰岡地区、漆山地区、角田地区など8地区32チームが参加して競技を行い熱戦の結果、見事西川かさほこBチームが優勝しました。(写真参照)2位は峰岡Bチームでした。

また10月31日には、第14回地域交流カーリンコン大会が開催され、西川チームから5チームが出場。その他、西蒲区から24チームをはじめ西区11チーム他に中央区、見附市が3チーム等々、計44チームで大会は行われ、またもや西川かさほこBチームが優勝の栄に輝きました。2位は巻Aチームでした。このチームの選手の平均年齢は90歳を超えても頑張つています。高齢者でも楽しく出来るスポーツです。



皆さんも加入参加しませんか?お待ちしています。

【コミュニティセンター講座案内】
ゆらら式で足から健幸に

（社）予防医学ゆらら式足分析® リフレクソロジー協会代表 岩坂 悦子



数年前に友人に新潟市内で「生徒達と足の復習会をしたのだけど良い施設はない？」と訪ねた所、「西川地域コミュニティセンターはどう？」と教えていただきました。

こちらの施設は、環境も良く、駐車場も広いし、わかりやすい立地、又何と言っても館内の方々のお人柄も良いので居心地良く利用させていただきます。

ゆらら式の足揉みは、一人一人の足からお疲れの内臓だけでなく、性格や遺伝、食事バランス、メンタル面、心の傷など、これからなりうる病気まで全て読みとり未病を防ぎます。

是非、病気になる前に「足からしるし」を読み取り、セルフケアをして100歳まで笑顔で元気に歩ける足を育てましょう。

講座を開催致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



【国際通信】
スコットランドの年末年始

スコットランド在住 ガーバッド貴子(学校町出身)

新潟も寒さが増してきたことと思いますが、北海道よりさらに北極圏に近いスコットランドにも長く暗い冬がやってきました。11月半ばの現在、日没時間は午後4時で、午後3時を過ぎると薄暗くなつてきます。そんな暗闇の季節、人々の心は光を求めるように、クリスマスへと向かいます。



大手スーパーで売られているキラキラのパーティー服
1チエンでは、9月から既にクリスマスコーナーが特設され、人々をクリスマス準備へと

駆り立てていました。職場のクリスマス・パーティーや親戚とのクリスマス・ランチ用のドレス、食器、プレゼント、インテリア類、食べ物…少しずつ揃えて、クリスマス準備期間を楽しみます。

私の職場でも、10月からクリスマス・ディナーの企画が始まりました。4月から働き始めま



家庭でのクリスマスの様子

したが、勤務初日に上司から言われたことは「クリスマス期間はチーム全体で2週間の有給休暇を取るから、君もそうするといよいよ」でした。（有給休暇は最低でも5週間以上と法律で定められています）

イギリス人は特に信心深いというわけではありません。私の周りでは、無宗教でも、イスラム教徒でも、ヒンズー教徒でも、クリスマスを楽しみます。暗く寒い冬を乗り切る方法として、宗教行事ではなく文化行事として受け入れられているように感じます。クリスマスが終わると、次はホグマニーという二次的なイベントが待っています。ホグマニーは大晦日のことで、スコットランド独特の祝い方があります。首都エジンバラで行われる年末コンサートと花火大会も有名ですが、スコットランド民謡「Auld Lang Syne（蛍の光の原曲）」を歌いながら、過ぎ去る年に別れを告げ新年を迎える伝統は世界各地で模倣されるようになりました。私も子供達が巣立ったら年越しパーティーに参加して、歌いながら新年を迎えてみたいなど思っています。



クリスマス飾りのグラスゴウの街

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ③⑦

ガンバって かいたよ!

曾根おひさま子ども園



「大きなとんぼ」

ふれあい公園で
とんぼを見つけたよ。
昆虫大好き。

こあらルーム (4歳児) 佐藤 蒼真

「恐竜みたよ」

思い出遠足で自然科学
博物館に行ったよ。

恐竜は大きかったよ。

らいおんルーム (5歳児) 金澤 大河



「大きな虹」

虹の色ぬりが上手に
できたよ。きれいに
塗れて楽しかったよ。

らいおんルーム (5歳児) 番場 彩



冬の星空はキラキラきれい

個人天文台長 吉崎 正人 (雙2区)

冬の晴れた夜、冷たい空気にはく息が
白く、いつそう寒さを感じます。そんな時、
上を見上げて下さい。白色、青色、オレン
ジ色の星ぼしが、チカチカ・キラキラ瞬(ま
た)いています。

きれいですね。上を見上げている私た
ちに語りかけているようです。その星ぼ
しも、実は名前がついていたり、星の組み
合わせでさまざまな星座が形作られてい
ます。

下の写真を見て下さい。冬の代表星座
であるオリオン座です。空のどこにあるか
と言うと、西川から巻の方(南方)を向
いて、上を見上げていくと、大きな四角形
と四角形の真ん中あたりに三ツ星がちょ
んちよんちよんとあります。これがオリ
オン座です。ぜひ見つけてみて下さい。見つ
けたら、左と左下にとても明るい星も見つ
けられると思います。この二つの星とオリ
オン座のオレンジ色の星を結ぶと、これが冬
の大三角です。

ベテルギウス(オリオン座) オレンジ色の星
プロキオン(こいね座) 左の星
シリウス(おおいぬ座) 左下の星
冬の大三角の星は、こんな素敵な名前
がつけられています。

もしかすると、さがしている時：流れ星
が：

冬は、なぜ星がきれい

- 一、空気が乾燥していて、水蒸気がないから星が良く見える。
- 二、夜が長く、星が見れる時間が多く、いっぱい星が見れる。
- 三、気温が低く、上空の風の強さの影響により空気がゆらぎ、星の瞬(また)きが激しい。
- 四、日本で見れる明るい星(二等星)の数が、冬が一番多い。



オリオン座と冬の大三角形

【図書館】

読書で星空を楽しもう！

新潟市立西川図書館 小林 直美



『賢治と「星」を見る』
渡部 潤一／著 (NHK出版)

寒い冬の夜、きれいな星空に見入ってしまった経験はありませんか。作家・宮沢賢治は美しく輝く星に心を奪われ、自身の作品で天体に関する記述を数多く残しています。

今回紹介する『賢治と「星」を見る』では、天文学者である著者が『銀河鉄道の夜』『よだかの星』『水仙月の四日』などの賢治作品を取り上げ、星や月といった天文学の素材を通して彼の人生をたどっています。著者は少年時代の賢治と自身の体験とを重ね合わせ、賢治作品に惹かれていきました。賢治が当時最先端の天文学の知識を得て、どのように表現してきたかについても触れ、作品の魅力が綴られています。

図書館では、宮沢賢治に関連した本がたくさんあります。また、「冬の大三角」や「すばる」などを見つける天体観測の本もありますので、ぜひ気軽にお越しください！

きれいな宝石の集まり
プレアデス星団

オリオン座より少し上に目を向けると、目のいい人は6個の星のかたまりを見つめることができます。プレアデス星団です。(左の写真)

双眼鏡や望遠鏡で見ると、青白く輝く6個の星の他、数多くの星が見えます。星のまわりには淡いガスもあり、思わず「きれい」と心の声が出てしまいます。和名では「すばる」と言います。アリスというグループが歌にも使われています。また、スバル自動車のロゴにも使われています。ロゴにした『いわれ』は、各自調べてみてね。



スバル自動車のロゴ 初代と現在

今年の冬は、にぎやか

今年の冬は、土星、木星、火星も見えています。望遠鏡で見ると左の写真のようになります。

土星のリングは毎年傾きが変化します。ちなみに、来年は土星を真横から見られるので、リングはとて薄いため、見えなくなります。どうでしたか、これからは暗い夜も、上を見上げれば楽しくなるかも。

興味を持った方、ぜひ遊びにきて下さい。

※次号へ続く



△土星



△木星



ミニコミ紙『よろぶち』と
2人の大橋氏

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

この町にとって大切な郷土文化の語り部だった大橋三郎氏がお亡くなりになった。氏から教えていただいたことは多い。きっかけは平成十四年(二〇〇二)十月、「西川町文化協会設立二〇周年記念・西川町を中心とする西蒲原郡ゆかりの文人展」の準備に際してのことだった。大橋氏の道案内のおかげで、もう二度とお目にかかれない資料調査に伺えた。氏の人柄と広い交流録の賜である。

ここに紹介する資料『よろぶち』も、大橋氏からコピーをさせてもらったものだ。

創刊は昭和五十六年十一月十日、全四頁、鑑潟の周辺地にちなむ命名だ。編集グループ代表は大橋義行氏。後記にある十一人のグループ中、田子了祐、棚橋亨介の両氏は先の文人展からお世話になった方だ。四頁だが読み応えがある、多彩で身近な記事が詰まっている。「今ここにミニコミ紙の発刊により、ある種の冒険と慣れからの脱出を試みたい」「そしてより良い未来社会を模索して行く」とつ

づる後記の文にも、ひとひねりあるコメントが読めた。

第二号は新春号と題し、昭和五十七年二月十日発行。全六頁に増えた。「あなたも『よろぶち』に参加しませんか!」との見出しで仲間を集っている。編集と資金参加の二面から、そもそも購読料をとらない、広告を載せない方針だった。以降二か月おきに発刊。

五号(S577刊)に農村家庭での若い妻たちの活動として、三十名からなる「押付・若妻会」の紹介、他に宅地開発が進む中、曾根の商店街に足を踏み入れず車で郊外に出掛ける傾向を嘆く「ゴーストタウンはごめん 活気ある町造りを!」の一文。

七号(S5711刊)は一周年記念特集で、「どろくさを原点として、文化活動の交流の場・町民の連携のための絆たる声の広場たり得たか」と顧みるコラム、また平澤興氏(元京都大学総長)の特別寄稿「己に克て」と、超有名人の文も載る。

三十号には、代表大橋義行氏の「五年間を省みて」のコラムがある。全国のミニコミ紙は三千、また五千ともいうが、単なる催し物案内だったたり、すぐ消えてしまうものだったたりす

るのが大半な中、時代の先端に立って地域文化の風化や衰退とたたかっていたいと抱負を語っている。

氏の周辺には同じ志の仲間がおられ、また「地域的」と呼べる文化が西川町に残存していた。私のように寝に帰ってくるだけの者が多くなってしまう空気感と異なる、二時代の気流が刻み留められている『よろぶち』だ。

大橋三郎氏からのご提供は四十八号(H3:4刊)分まで。西川図書館で確認すると、四十八号で休刊。のち平成二十二年、合冊本が製本されていた。その巻頭に大橋義行氏が十八年間の休刊をふり返り一文をまとめている。文末に「(二十五冊合本製本を作ったが)その中の一部でも後世の志あるものの手に渡ることがあれば これに勝る喜びはない」と

結ぶ。それから十四年ぶりに、ここに紹介するものである。ぜひ、図書館で手にとって頂きたい。



『よろぶち』発刊!

地域の交流の場を提供

編集・報道の上で新たな困難も

『よろぶち』は、西蒲原郡ゆかりの文人研究会が、地域の交流の場を提供するために創刊されたミニコミ紙である。創刊以来、地域の文化の発展と、後世に伝えることを目指して発行されている。しかし、近年は紙の価格の高騰や、印刷費の増加など、新たな困難も生じている。それでも、地域の文化を伝えるという使命を、この紙を通じて果たしていきたい。

【防犯】

「十」プラス記号から始まる
電話番号にはご注意ください！

西川交番 長谷川 充

「十」(プラス記号)から始まる電話番号は国際電話番号です。最近、国際電話番号による特殊詐欺が急増しています。国際電話番号の電話で、「未納料金があります。詳細を聞くには「1番」を押して下さい。」などと自動音声の案内が流れます。指示された通りの番号を押すと犯人であるオペレーターとの通話が始まり、さまざまな口実でお金をだまし取られます。

海外からの電話に心当たりがない方には、このような表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、固定電話・ひかり電話への発信・着信を無償で休止できます。お申し込み・お問い合わせは、「国際電話不取扱受付センター」電話番号0120-210-364となっております。



【コミュニティセンター講座案内】

健康サポート教室について

鶴巻 健

筋肉量は20代をピークに年齢とともに減少し、50代から急激に減少します。特に下半身が早く大きく減少し、ウォーキングだけでは筋肉の減少は抑えられないと言われています。

筋肉量が減少したり筋力が低下すると、歩く、立ち上がるなどの基本的な動作に影響が出て転倒、骨折のリスクが高まり、最終的に寝たきりの発生要因の一つとなります。

健康は個人の問題であると同時に社会全体の課題であるとの考えから、新潟市では2011年より筑波大学、つくばウェルネスリサーチ事業を開始しました。

2016年に終了し、その後参加者、指導員で自主サークルとして始めたのが現在の健康サポート教室です。

現在西川コミュニティセンター他市内5会場で200名程の方が「生きがい」や「楽しい目的」を持ち続ける為のトレーニングに励んでいます。

いつまでも元氣なカラダで旅行やおでかけしませんか?色々な活動が出来れば楽しく毎日を送れます。



【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」2作目パート①

今号より「郷土読本」(昭和9年発行・鎧郷村教育会編)から各俳人の2作目の俳句を紹介する。解説は、以前より適切なご指導をいただいている巻地区在住の寺尾亜真李先生にご協力をお願いした。また、画像資料は新潟日報事業社の書籍やWebなどから引用した。

なお、掲載の俳句は昭和初期に詠まれたもので、現在使用しない語句があるが、原文のまま引用させていただいた。

秋最中 心の隈も なき夜かな

佐藤 富潤

【大意】

秋の夜は長く、辺りは静まりかえっている。美しく照り輝いている月のように、私の心も隠すところがない穏やかな夜だなあ。

※自然と人が一体となり、充実感のある句



【防災】

火災が増える季節です

西蒲消防署西川出張所長 石山 拓己

寒い季節になると、暖房器具を使う機会が増えますが、その分、火災のリスクも高くなります。新潟市の過去5年間に発生したストーブ火災を原因別で見ると、最も多かったのは、可燃物が火源に触れて火災になることです。

例えば、ストーブの上で干していた洗濯物が落ちたり、就寝中に寝返りをうった際に布団がストーブに接触する等があります。ストーブ火災を防ぐには、燃えやすい物を周囲に置かない。就寝の際、ストーブを消す。これは、当たり前のことですが「ついつい」や「いつも」やっているから」等の考えで油断していると火災になる危険度が高まります。

暖かく安全に冬を過ごすためには、ストーブの取扱説明書をよく読み次の事にも注意しましょう。

- ① ストーブの周囲に可燃物は無いか確認する
- ② 燃料の油種は間違っていないか確認する
- ③ カートリッジタンクから燃料が漏れていないか確認する

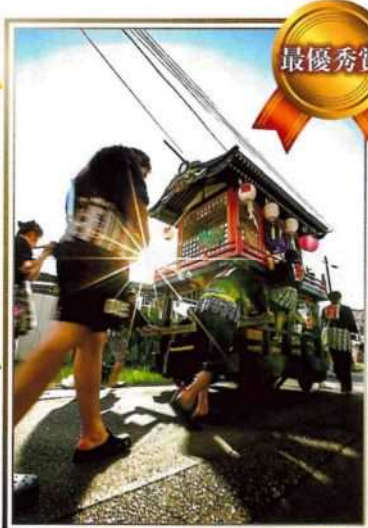
油断せず以上のことも確認し、正しく安全にストーブを使いましょう。



「入賞作品」
をご紹介します。

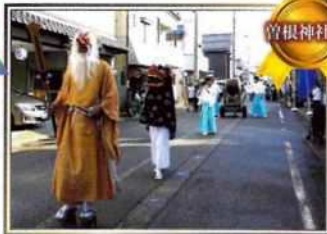
「西川まつり」写真コンテスト
入賞作品を紹介します

西川地域コミュニティ協議会
「西川祭り写真コンテスト」係



最優秀賞

「躍動」高橋 泰弘 (押付)



曾根神社賞

「伝統の祭り」小林 ゆり子 (押付)



かさぼん賞

「ソレツ、廻せ！」中澤 敏男 (六番町)



だいの賞

「雨の帰り屋台」佐野 洋司 (四番町)



「着飾って」
本間 泉 (升湯)

作品の展示

入賞作品の展示は、1月6日(月)～29日(水) 西川図書館エントランス「にしかわ昭和・平成の写真展」会場で展示します。

西川町誕生70年・開町20年記念

にしかわ昭和・平成の写真展

令和7年1月6日(月)～1月29日(水)

西川図書館エントランス

主催 西蒲区文化施設を運営する市民の会

にしかわ昭和・平成の写真展 実行委員会
(西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会 越後にしかわ幸ほ三伝承会)

観覧無料

おめでとうございます

第52回 県芸術美術展 入賞者

◎洋画 大橋 豊子 (八番町)

第55回 県ジュニア展 入賞者

◆奨励賞

幼稚園・保育園

5歳児 平 つむぎ (和光)

小学校 竹平 陸人 (和光)

八百板夢翔 (曾根小3)

小林 彩乃 (鎧郷小4)

本間 咲月 (鎧郷小4)

24年日報写真コンテスト

◆佳作 田中 恵子 (鮎)

河川美化啓発ポスターコンクール

◆西蒲区長賞 岸本 和華 (曾根小1)

◆優秀賞 本間 葉椰美 (鎧郷小4)

町田 簾央 (鎧郷小6)

編集後記

壁のカレンダーは一枚のみ。なんとか今年最後の「たより」を届けられました。寒さの本番は年明けから。インフルエンザなどにかからぬよう、お互いに気をつけましょう。

【編集委員】◎江端 繁 ○灰野直義

榎本 博 土田正博